

南風病院

病院の概要

| | |
|-----------|---|
| 所在地 | 鹿児島市長田町14番3号 |
| 開設者 | 公益社団法人鹿児島共済会 会長 貞方 洋子 |
| 開設年月日 | 昭和29年9月13日 |
| 病院長 | 吉野 伸司 |
| 病床数 | 338床 |
| 診療科目 | 内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、人工透析内科、脳神経内科、肝臓内科、ペインクリニック内科、緩和ケア内科、老年内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、小児整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科 |
| 医師数 | 105名 (常勤74名、非常勤31名) (令和7年4月現在) |
| 指導医数 | 27名 (指導医講習会受講済み) |
| 1日平均外来患者数 | 399名 (令和6年度実績) |
| 1日平均入院患者数 | 235.2名 (令和6年度実績) |



臨床研修プログラムの目的と特徴

プライマリケアを中心に、幅広く医師として必要な基本的知識、技能はもちろんのこと、患者さま及びコメディカルとのコミュニケーションのあり方について修得することを目的としています。

内科系、外科系とともに各領域の専門医の指導のもとに、救急患者を含む、広い領域の疾患を体験し、医師としての基本的診療能力を身に付けることができます。当院以外の協力型臨床研修病院、研修協力施設ともに、地域における中核的な病院・施設であり、優れた指導医のもとで、多くの臨床経験を積むことが可能です。最初の内科系における基本研修の後は、各診療科のローテーションの順序、研修期間を含めて、選択の幅を最大限に活用し、後期研修以降の個々人のキャリアの方向性に合わせた研修をおこなうことができます。また、救命処置のトレーニングとして、AHA BLS、ACLSを受講しライセンスを取得します。

プログラムをサポートするものとして定期的な講義・カンファレンス・エコー実習のほか、月1回の指導医と研修医を交えたミーティングをおこなっています。ミーティングでは、臨床研修の環境向上を目的として、プログラム責任者、研修実施責任者と研修医全員が参加して、研修上の課題や要望等について意見交換をしています。また、講義は1週間に1回を目安に、研修医から要望のあったテーマに対して、当院に勤務する医師が講義をおこなっています。研修医からの要望に基づいて実施しており、双方面での講義が実現しています。エコー実習では心血管管、腹部エコーについて各12回おこなっており、一定の技術を修得できます。またP E T / C T やダヴィンチを利用したロボット手術などに触れる機会もありますので、基礎から最新医療まで豊富な症例から多くの事例を学ぶことができます。

緩和ケア病棟での研修も可能です。患者さまや家族の意向を十分に聞きながら、的確な診療とケアができる医師になれるよう、指導する立場の医師やコメディカルも熱心に取り組んでいます。「南風病院で研修して良かった」と感じてもらえるよう、研修の仕組みをさらに充実させるとともに、患者さまの生活全体を視野に入れた医療が提供できるように育ってほしいと考えています。

臨床研修スケジュール

| 年目 | 4月～9月 | 10月 | 11月～12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------|--------------|---------------|-------------|-------------|--------------|---------------|
| | ※内科 (24週) | 選択 (麻酔科) | ※救急 (8週) | ※外科 (4週) | ※小児科 (4週) | ※産婦人科 (4週) |
| 救急部門 (当直) | | | | | | |
| 年目 | 4月 | 5月 | 6月～3月 | | | |
| | ※精神科 (4週) | ※地域医療 (4週) | 選択 | | | |
| 救急部門 (当直) | | | | | | |

※必修項目

救急部門 (当直) は、2週間に1回を目安に当直を行うことで、救急部門における到達目標を達成する。研修期間としては4週に相当する。

研修協力病院・研修協力施設

現在、都道府県へ申請中

研修協力病院 鹿児島大学病院 (選抜 (全診療科))、鹿児島市立病院 (小児科、救急部門、産婦人科)、独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター (選抜)、霧島市立医師会医療センター (救急部門)、医療法人有隣会伊敷病院 (精神科 (必修)、選抜)、公益社団法人いのちの樹メンタルホスピタル鹿児島 (精神科必修)、鹿児島県立大島病院 (救急部門、地域医療、選抜)、出水郡医師会地域医療センター (救急部門、地域医療)、公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院 (救急部門、小児科、選抜 (全診療科))、国分生協病院 (地域医療)

研修協力施設 薩摩川内市下甑手打診療所 (地域医療)、医療法人天翔会五反田内科クリニック (地域医療)、社会医療法人義順会種子島医療センター (地域医療)、社会医療法人童仁会池田病院 (小児科)、うえの内科循環器内科クリニック (地域医療)、社会医療法人天翔会中央病院 (選抜 (内科))、医療法人慈風会厚地脳神経外科病院 (選抜 (外科))、公益社団法人昭和会いまきいれ病院 (選抜)

新専門医研修プログラム

◆南風病院内科専門研修プログラム概要

日本内科学会「研修手帳 (疾患群項目表)」に定められた内科領域の各種疾患について学ぶ事を目的とし、研修期間の3年間において内科系診療科をローテーションするプログラムです。原則として1年目は当院で、2年目は各連携施設で、3年目は再び当院でローテーション (不足している履修項目を含む)を行ないます。診療科については、各専攻医のビジョン・履修状況に合わせて検討致します。

| ローテーションスケジュール (例) | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---------------------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 院内研修 | | | | | | | | | | | | |
| 内科 | 救急症例については各科救急対応/当直等にて履修する | | | | | | | | | | | |
| 消化器 | | | | | | | | | | | | |
| 腎臓 | | | | | | | | | | | | |
| 院外研修 | | | | | | | | | | | | |
| 血液 | | | | | | | | | | | | |
| 膠原病 | | | | | | | | | | | | |
| 循環器 | | | | | | | | | | | | |
| 地域医療 (へき地) | | | | | | | | | | | | |
| 地域医療 (在宅) | | | | | | | | | | | | |
| 院内研修 | | | | | | | | | | | | |
| 呼吸器・感染症 | 救急症例については各科救急対応/当直等にて履修する | | | | | | | | | | | |
| アレルギー | | | | | | | | | | | | |
| 神経 | | | | | | | | | | | | |
| 循環器 | | | | | | | | | | | | |
| 内分泌・代謝 | | | | | | | | | | | | |
| 緩和 | | | | | | | | | | | | |
| 不妊症 | | | | | | | | | | | | |
| 履修 | | | | | | | | | | | | |

病院のアピールポイント



プログラム責任者
吉野 伸司

当院は内科系、外科系、放射線科、病理診断科から構成されている急性期病院です。医局は一つで診療科間の隔たりがなく、各科の医師が、お互いに助け合いながら診療にあたっていることが当院の最大の長所です。この点は研修医指導にも生かされており、各科の専門的立場からの意見を参考にしながら、一人ひとりの患者さまを総合的見地から診療ができるよう医師育成を目指した指導をおこなっています。

指導医も参加する研修医症例カンファレンスでは、それぞれが各科で経験したことを発表し合い、各人の経験の共有化と問題点のディスカッションを行うことで、プレゼンテーション能力の向上を目指しています。指導医は時に失敗談や過去の経験などをコメントしながら、研修医が意欲的に研修を全うできるよう配慮しています。さらに週1回の各科医師による講義や腹部・心臓実習もおこなっており、南風病院で学べば必ず一定のレベルに到達できるような充実した研修システムを築いています。

南風病院のもう一つの特徴は、各科が学会・論文発表などを積極的におこない、高いレベルでの診療を患者さまへ提供しようとする強い志を持っていることです。研修医・専攻医にも積極的に学会・論文発表をしてもらおうように奨励されており、病院も支援してくれる体制が整っているため、学術面でも将来への飛躍の礎になるような研修プログラムを準備しています。Global standardで診療をおこなうために、医局には各部門の国際的英文雑誌も整備され、Up to dateでの検索も可能になっています。

さらに、当院は地域医療支援病院であるため、紹介者の比率が高く、初期研修に必要な多様な症例を経験することができる。また、MRI・CT・RI・PET・超音波診断なども院内で全て迅速に対応することができるので、効率的で精度の高い診断に基づいた初期研修を受けることが可能です。南風病院で研修を受け、地域に、そして世界に飛躍する医師を育成することが私たちの目標です。



採血実習 (4月)



外科研修風景



研修医症例カンファレンス (研修医局にて)

初期研修医待遇

| | | | |
|-----|--|----------|--|
| 身分 | 研修医 (常勤) | 加入保険 | 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、病院賠償責任保険 |
| 基本給 | 1年次 月額 430,000円 2年次 月額 450,000円 | 当直手当 | 平日: 10,000円～/土曜: 15,000円～/日祝: 10,000円～ |
| 賞与 | 1年次 夏季 200,000円 冬季 200,000円 2年次 夏季 200,000円 冬季 200,000円 | 通勤手当 | なし |
| 出張 | 学会等への発表、参加あり (旅費支給あり) | 宿舎(住宅手当) | 単身用あり (病院徒歩2分/家賃月額 20,000円～) |
| 休暇 | 年次有給休暇 (1年次10日、2年次11日)、年末年始休暇 (12月30日～1月3日) | その他手当 | 時間外勤務手当 |
| | | その他 | 協力型病院での研修中は、当該病院の待遇を適用する場合があります。 |

募集要項

募集定員 5名
応募資格 第120回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和7年度医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切 令和7年8月初旬～中旬頃
試験日程 令和7年8月中旬頃
試験内容 面接

応募連絡先

所在地 鹿児島市長田町14番3号
担当部署 人事課 (担当: 戸田・月野)
電話 099-226-9111 (代表)
FAX 099-225-8096
E-mail recruit@nanpuh.or.jp
URL http://www.nanpuh.or.jp/

交通案内

